

海外留学派遣プログラム

<事業概要>

京都地域の高等教育の国際競争力の向上、教育の質の保証と向上を目指し、大学コンソーシアム京都とオーストラリア・ビクトリア州の大学連携体との協定を生かし、単位互換事業を活用したメルボルンへの短期留学プログラムを実施しています。大学によっては多くの海外留学プログラムを提供できるところがある一方、その選択肢が限られている場合があります。大学間連携組織として、大学の枠を越えて、京都地域の大学生誰もが国際交流へのアクセスを確保できるよう取組を進めています。

そうした海外留学の準備支援として、主として日本人学生を対象とした講義「英語で京都の魅力をプレゼンテーション」や「TOEFL iBTテストスコアアップセミナー」「IELTSプレテスト」を実施し、学生の留学促進と留学生活の充実を目指しています。

<主な活動項目>

- ◆英語で京都をプレゼンテーション
- ◆TOEFL iBTテストスコアアップセミナー
- ◆IELTSプレテスト（学生向け）

※DI (Diffusion Index) 値とは

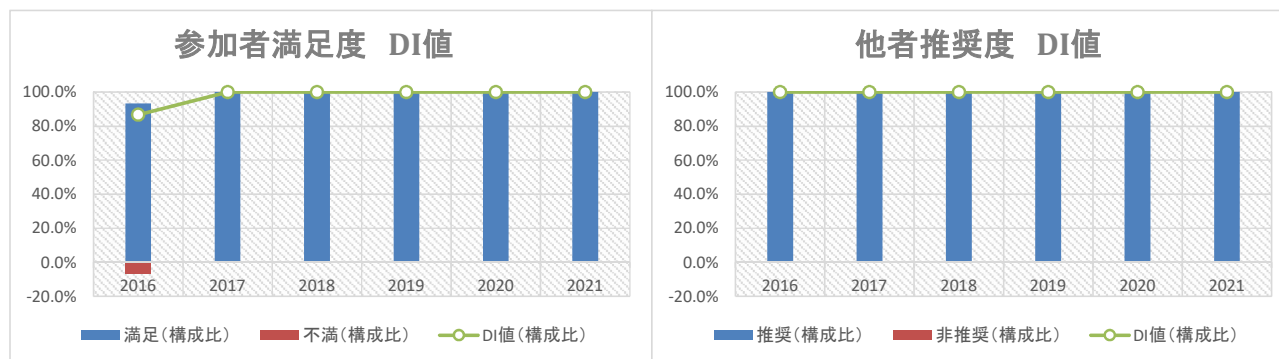
「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して、単一の値に集約する加工統計手法のこと。または、この方法によって得られた指数をいう。DIは、時系列データであれば値の増加（プラス）／減少（マイナス）、サーベイデータ（アンケートなど）であれば回答が良い／悪いなどの属性に分類し、その属性の個数を集計して全系列数に占める割合などから算出する。

<http://www.itmedia.co.jp/im/articles/0707/09/news108.html>

◆英語で京都をプレゼンテーション

<事業概要>

海外留学中などに、「日本や京都のことを聞かれても英語で答えられない」という声が多く寄せられたことから、多くの学生に英語で自国や京都の魅力を伝えられる能力を養成する企画として実施しています。



<参加者の声>

○対面で茶道や華道体験ができなかったのが残念ですが、オンラインでもスタッフの方々が様々な工夫をしてくださり、楽しく研修を受けることができました。今後も茶道、華道体験、そして無鄰菴見学は是非していただきたいです。

○京都の歴史、文化、そして京都を英語で説明する様々な表現を覚えることができた。

○英語で京都や日本の文化を学び、留学先で伝えられるようになる、という目標を達成できたと思います。また、英語に興味がある、留学したい、といった、似た目標をもった他の参加者と出会うことができて刺激になりました。

○普段、あまり他大学の方や留学生の方と交流する機会がなかったので、この様な場を設けて頂いたことにすごく感謝しています。

○もう少し生徒同士の意見交換の場が増えるか、中間プレゼンのようなものがあると練習にもなるので良いなと思いました。

参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
満足(名)	14	33	32	17	10	9
不満(名)	1	0	0	0	0	0
満足(構成比)	93.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
不満(構成比)	-6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	86.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	20	33	41	26	16	13

他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
推奨(名)	14	33	32	17	9	9
非推奨(名)	0	0	0	0	0	0
推奨(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	20	33	41	26	16	13

＜参加者の声を受けて改善を図った点＞

○2021年度は全6回のうち4回がオンライン、2回を対面開催により実施した。より深く京都や日本について学ぶ講義を増やし、ブレイクアウトルームを活用してアウトプット・フィードバックする機会を設けるなど、これまでのアンケート結果への対応を踏まえた研修内容とした。

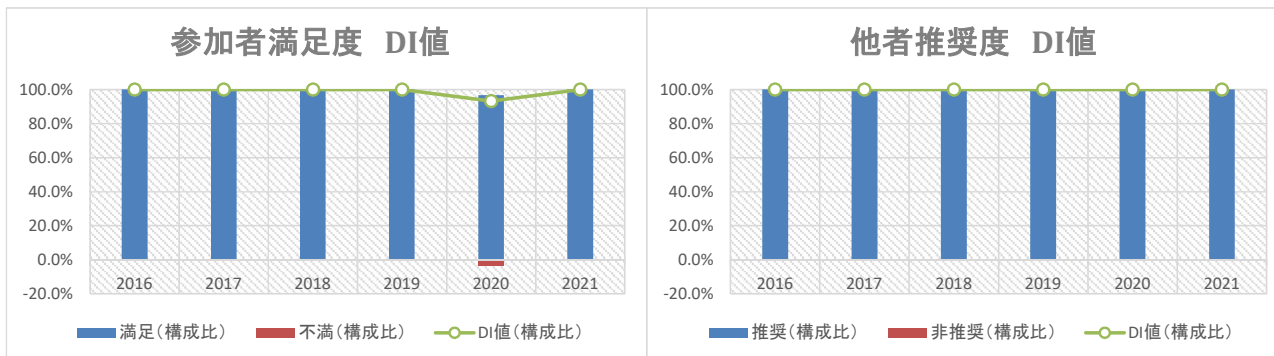
【総 括】

先述のとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむなくオンラインを主軸とした形式で開講した。今回は茶道・華道研修を初のオンライン開催としたが、後半2回を対面開催とし、フィールドワークとして庭園見学（無鄰菴）を実施し、名勝庭園を実際に歩いて見学することなど、貴重な経験として受講生からの満足度が非常に高い結果となった。後半2回のみであったが、対面が叶いほかの受講生との交流がようやく出来て良かったという感想もあり、「満足した」及び「やや満足」が100%など、全体として満足度が高いという結果が得られた。

◆TOEFL iBTテストスコアアップセミナー

<事業概要>

これまで財団に多く寄せられたTOEFLテストの対策講座開設の要望する声を受け、2015年度より国際教育交換協議会（CIEE）〔現ETS Japan（2021年度～）〕と大学コンソーシアム京都が共催する加盟校学生対象TOEFL iBTテストの無料スコアアップセミナーを開催し、多くの参加および高いフィードバックを得ています。



<参加者の声>

- TOEFLテストがどのようなテストなのか知ることができた。また、どのように対策をしていけばいいか知ることができた。
- テストにおけるそれぞれの項目について大変丁寧に解説されていた。
- 問題の仕組みから、アプローチ、キーポイントなど幅広く教えていただいた。
- 実際に問題を解きながら解説していただいたので、どういった感じなのか概略を掴むことができました。
- オンデマンド配信もしていただきたいです。
- 具体的に次の学習に繋げられるような工夫、次回セミナーの紹介があればより有難かったです。

<参加者の声を受けて改善を図った点>

- 講座の内容に対する意見等を含めたアンケート内容については、講座を提供いただいている国際教育交換協会（CIEE）にフィードバックし、今後の改善に役立てていただいている。
- 前年度は例年の定員50名を大きく上回る100名に受講いただくことができ、さらに満足度が高いものであったため、2021年度の実施に際しては、オンラインとしつつ、例年同様の開催内容とした。

【総 括】

2021年度はコロナ禍の影響により前年度に引き続きオンライン開催となった。受講者数の年次比較を行った場合には、人数が大きく減少しているが、それでも申込者43名で受講者21名となり、対面開催時（30名前後）と同じような受講者数となった。また、受講者の満足度は例年どおり高かった。次年度以降もETS-Japanから機会をいただける限り、本セミナーを継続していきたい。

参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
満足(名)	36	35	20	29	57	13
不満(名)	0	0	0	0	2	0
満足(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.6%	100.0%
不満(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-3.4%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.2%	100.0%
参加者数(名)	41	38	21	32	100	21

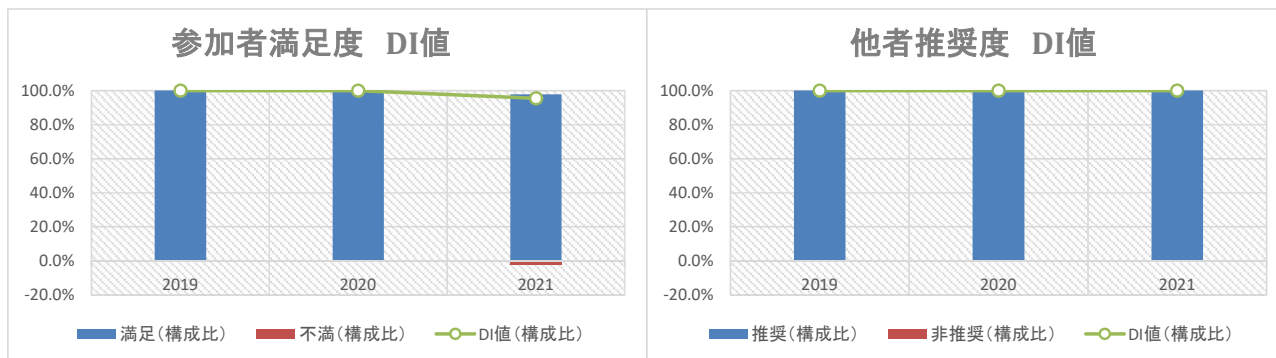
他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
推奨(名)	33	33	17	27	53	12
非推奨(名)	0	0	0	0	0	0
推奨(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	41	38	21	32	100	21

◆IELTSプレテスト

<事業概要>

財団では、日本人学生の海外留学促進のために、語学学習支援に取り組んでいます。IELTSは、英語力証明の有力なテストの一つであり、英検の協力を得て実施する「学生向けIELTSプレテスト」では、本番に近いかたちで「リーディング」「ライティング」「リスニング」の模擬試験を無料で受けることができます。



<参加者の声>

- 高額なテストを体験することができた。学生の指導に説得力を持って指導できる。
- IELTSに関する総合的な情報を得ることができた。無料で模擬テストを受けられることがプラスになった。
- IELTSを受けたら1回2万5千円がかかるので、試験を受けるのに回数が限られるが、このような形でしてもらえると、今の実力が知りたいときにとても役に立つと思うから。
- 休憩の時間を入れてほしい。英語での説明をもっと分かりやすく言ってほしい。
- 本番のIELTSは持ち込み等に対してもっと厳しいので、それに近い形で受けられるのが望ましい。

<参加者の声を受けて改善を図った点>

- 多くの受講希望がある中、当選後のキャンセルが課題となっていたことから、2021年度は前年度に引き続き、抽選前に「予定どおり参加する意思があるか」を再確認したうえで、意思があるとの応答があった者を対象に抽選を行った。これにより、当日のキャンセルが減少し、より多くの意欲ある学生に受講のチャンスを提供できた。
- 2021年度も多くのイベントがオンラインとなる中、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら対面形式にてイベントを実施することで、学生に本番により近い形での体験機会を提供することができた。

【総 括】

本事業は主要な英語試験の一つであるIELTSを本番に限りなく近い環境で体験することが事業趣旨であることから、オンライン対応ではなく実施時期の調整で対応するとともに、実施に当たっては新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら対面形式にて実施を行った。また、学生向けについては、当日キャンセルが多いという従前からの課題に対して、直前に実施意向確認を行った上で抽選を実施したことで、より多くの意欲ある学生に受講のチャンスを提供することができた。引き続き対面形式での開催を基本に企画・実施していく。

参加者満足度

	2019	2020	2021
満足(名)	42	45	43
不満(名)	0	0	1
満足(構成比)	100.0%	100.0%	97.7%
不満(構成比)	0.0%	0.0%	-2.3%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	95.5%
参加者数(名)	56	49	49

他者推奨度

	2019	2020	2021
推奨(名)	39	44	44
非推奨(名)	0	0	0
推奨(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	56	49	49